浦和東部地区元気アップネットワーク

第５回　みんなの学校づくりプロジェクト

日時　　７月２２日（土）　１０時～１２時頃

場所　　浦和スポーツクラブ

１．開会・あいさつ

２．自己紹介　　・・・　必要に応じて

３．第４回までのおさらい

４．基本構想（たたき）について意見交換

５．次回の予定

６．閉会

配布資料
　次第
　資料―１　第４回の記録
　資料―２　基本構想（たたき）

　過去の資料は。。。
　ホームページ　　https://genkiupnw.webu.jp/
　フェイスブック　https://www.facebook.com/genkiup.urawaeast/

Facebook

ホームページ

「みんなの学校」設立準備会　第５回の結果概要

日時：２０１７年7月２２日（土）　　１０時～１２時
場所：浦和スポーツクラブ
参加：西澤、野辺、井上、斉木、千野、奈良、栃川、長島、石井、深水、小川、小野崎

みんなの学校基本構想（たたき）について意見交換を行った。

１．背景について
特になし

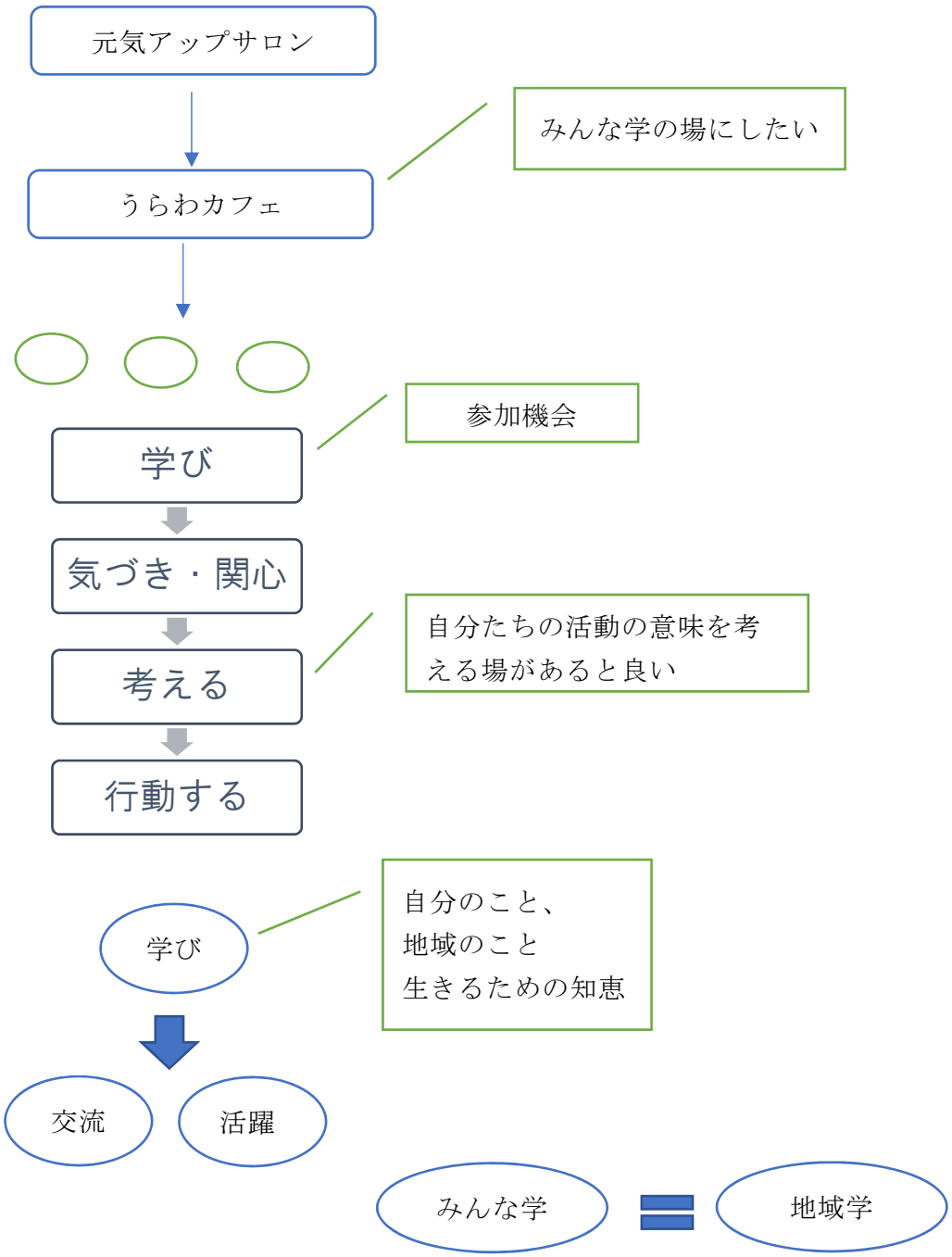
２．理念について
・ 目的は「住んでよかったと思える地域にする」ことを入れると良い
・ 「みんなの学校」は、楽しく、優しく、住んでよかったと思える地域を目指すことをいれたい
・ 住んでよかったと思えることを学べる場所であろう
・ 入りやすい場所であるべき
・ メインをスパッと　わかりやすくしたほうがいい
・ みんなの学校に集い、学びながらこの地域が楽しく優しく思えることを目指すところ
・ 見えるものにしていく
・ 継続できるものに

３．実現のための基本方針
・ １番目は「みんなの学び場」であろう
・ 「みんなの活躍の場」をつくることも
・ 交流の場や居場所は別ではないか
・ 「みんな学」を考え続ける　は事業概要にいれてはどうか

４．名称
特になし

５．事業概要
・ サロンのための活動に絞ってはどうか
・ サロンの担い手がいないという課題があったのだから、そこに注力すべきではないか
・ 居場所を増やすためにしてはどうか
・ サロンのブランチとして、身近にあるほうが良い
・ 範囲を狭めるとすると、今までの議論の経緯はどうなるのか？
・ 地域の活動に声をかけて広げるきっかけにしようということであった
・ 元気アップサロンは講師をと受け手に二分されてしまう
・ 地域にこだわる考え方、勉強する機会をつくること

- 地域に仲間を増やす
- コミュニケーションができる講座をいれていく
- 潜在的なニーズはたくさんある
- 地域に関わってない人に触れる場所があると良い、これが大事
- 地域の“いいよね”をたくさんつくる



20170624までの話し合いを受けて

浦和東部地域元気アップネットワーク

「みんなの学校」基本構想（案）

１．背景

- 私たちの住む地域は、今でも人口が増えています
- 子どもたちも少なくありませんが、高齢者もとても多い地域です
- 文教都市で住みやすい地域であると言われており、引っ越してきてよかったという声も多く聞こえてきます。
- しかしながら、近年、近隣同士の交流が著しく減少し、独居老人も増える中、将来が不安だという声が多く聞こえるようになってきました。
- さいたま市は、日本でも有数の高齢者の多い地域になると言われています。
- 地域の誰もが安心して過ごせる、つながりや優しさを感じる、住んでよかったと本当に思える地域が必要になってきています。

２．基本理念

人は他者との関係の中で生きています。
したがって、自分以外の全ての人の安全、安心は私たちの喜びとなります。
私たちが創る“学校”は、誰も排除せず、誰でも受容し、誰もが尊厳を保証される、そんな場所です。
そして、ここに集い学ぶ人々は、地域が楽しく、優しく、住んでよかったと思える場所となることを願う仲間です。

（元気アップネットワークの活動として進める理由）

元気アップネットワークは、地域住民が健康に、いつまでも元気にいられるようになることを目標として活動しています。

心身の健康は、運動や栄養や休息といった個人の生活習慣の他、人との交流や健全な社会環境によってもたらされると言われています。

元気アップネットワークは、健康な体づくりに取組むとともに、健康な地域づくりに取組んでいきます。

２．実現のための基本方針

- みんなの交流の場をつくります
- みんなの学びの場をつくります
- みんなの活躍の場をつくります
- みんなの居場所をつくります
- 「みんな学」を考え続けます

３．名称

「みんなの学校」

４．事業概要

主に、次の事業をおこなっていきます。

〇サロン（居場所）

〇複数回シリーズの様々な講座

- 趣味などを含む生涯学習の講座
- ボランティア養成など人材育成のための講習

〇教養ゼミ

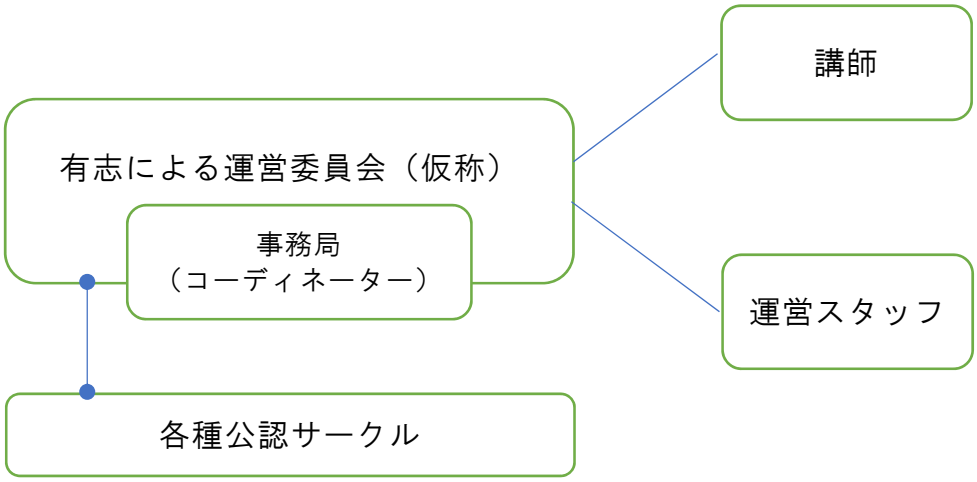
- 地域、福祉などの理念や考え方を学び合う場

〇実学・実習の機会としてのサークル活動

５．入学と退学

入学も退学も自由な学校

６．組織



公認サークル：活動の一環として、地域に還元する活動を行うこと

例）料理サークル：みんな食堂を年に１回でも実施

絵画サークル：夏休み絵画教室の開催

７．財源

うらわ学園からの支援
学費（参加費）
商店会などの協賛
自治会などの協力
意思ある寄付

８．会場（キャンパス・校舎）

うらわ学園
お達者倶楽部
寺社
自治会館
浦和スポーツクラブ　など

順次増やしていくが、最終的には本太中学校、木崎中学校、浦和高校などに集約できると良い

９．スケジュール

２０１７年　７月　基本構想
　　１０月　基本計画
　　開校準備
２０１８年　４月　開校

以上